

渡り鳥との予期せぬ出会い

2018年の秋から2019年の春にかけて、長池公園で珍しい渡り鳥との出会いがいくつかありましたのでご紹介します。

『ひとまちみどり由木』が管理する81ヶ所の公園には、多様な動植物が暮らしています。このコーナーでは、管理作業や巡回の折に出会った動植物について、その際に撮影した写真とともにご紹介していきます。

ツツドリ

芝生広場の近くでツツドリ（赤色型）の羽を拾いました。渡りの途中で桜並木に立ち寄り、好物の毛虫を食べていたに違いありません。過去の記録を遡ってみると、4年前の10月7日にも同じ場所で木陰にたたくツツドリの姿を観察していました。

ミソサザイ

特別保全ゾーン内で続けられている鳥類標識調査において、ミソサザイが捕獲されました。これまで、ながいけの道などでも目撃されていますが、動きがすばやく藪の中からはなかなか出てこないため、こうしてじっくり観察できる機会はとても貴重です。



ミソサザイ

キクイタダキ

日本最小の鳥、キクイタダキ。亜高山で繁殖し、秋になると低山へ移動して越冬しますが、年によっては街なかの公園などでも観察されることがあります。今シーズンは都内各所で目撃情報があり、長池公園でも一度だけ出会うことができました。

ヤマシギ

辺りがすっかり暗くなった19時頃、園路のすぐ近くでヤマシギを見つけました。主に夜行性の渡り鳥で、長い嘴と頭の真横に付いた目が特徴です。雨上がりの側溝が、彼らの好物であるミミズの隠れ場所になっていたようです。



ツツドリ



ツツドリ（赤色型）の羽



キクイタダキ



ヤマシギ